

ゆめピタル

皆様の笑顔が私たちの喜びです

共生・奉仕・拓生

ま
ち
の
保
健
室



私たちは、すべての人が住み慣れたまちで安心して暮らし、生まれてから最期の時を迎えるまで自分らしく生きられるよう、医療を通じて地域社会を支えます。



医療法人 椎原会
有馬病院

超高齢化社会を迎えた南薩地域のニーズに応える医療機関を目指して

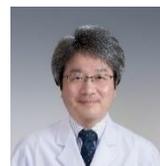
当院は南薩地域における中核病院の一つとして、内科・外科を中心に地域住民のかかりつけ医としての役割を担うとともに、病状悪化や外傷などの救急患者、原因のはっきりしない病態や複数の疾患を抱えた患者様などを積極的に受け入れております。具体的には、消化器、脳神経、呼吸器、循環器、内分泌代謝疾患（糖尿病、脂質異常などの生活習慣病、甲状腺疾患）、感染症などの内科系疾患や外傷を含む一般外科、消化器外科、小児外科（小児の総合診療を含む）を中心とした外科系疾患の診療、急性期治療後の患者様には病後回復・ADL改善のためのリハビリから在宅復帰、施設入所に至るまでのサポート、またその後の在宅・施設での訪問診療、訪問看護、居宅介護支援、看取りにまで診療内容は及びます。

一方、昨今の医療界の傾向は、専門分化がすすみ、個々の疾患領域で高度化がすすみ、専門外の診療は回避され、臨機応変に対応できないといったケースが数多く見られるようになりました。すなわち総合的に診療できる人材や医療施設が不足していることを医療側としても実感しているところです。特に医療資源の乏しい地方ではこのようなことが顕著になってきており、地域医療では各医療機関の専門性のほか、総合的な診療が可能で、さらに通常の診療時間外である夜間や休日での対応が可能な医療機関が求められてきております。

このような現状を踏まえ、当院では地域社会のさらなるニーズに応えるべく、標榜科目として、新たに救急科および疼痛緩和内科、老年内科を加え、地域の皆様に当院の診療内容をより詳しく知っていただくこととしました。基本的にはこれまでの診療体制に変わりはありませんが、救急患者受け入れのための体制の見直し、整形外科診療枠の拡充と全身麻酔下手術の再開、総合診療に精通し、長年にわたり難病や末期がん患者の診療、在宅医療・緩和ケアにたずさわってきた人材の確保、さらには多くの老人にみられる栄養障害やフレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、各種生活習慣病に対応すべく、栄養状態をより詳細に評価するための機器の導入や教育・体制づくりを行いました。これまで地域で受け入れ困難であった患者様への対応がより幅広くかつ円滑に、そして多くの患者様に満足していただけるよう心より願っております。

地域の皆様が、超高齢化社会、人生100年時代を健康的に、安心して過ごせるような社会づくりに少しでも貢献できるよう、引き続き有馬病院は努力してまいります。

令和7年6月
病院長 松本 正隆



『共生の精神をもって』

脳神経内科・在宅医療/総合診療 担当
田代 博史



専門は脳神経内科で、特に筋萎縮性側索硬化症・多系統萎縮症・パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの神経変性疾患を数多く診察してきました。脳神経内科には、一般内科はもとより脳神経外科・精神科・耳鼻咽喉科・眼科など他科との境界領域疾患も多く、これらを広く担当致します。

直近の20年間は福岡市内の病院に勤務し、神経難病と末期癌を主体とした在宅医療、緩和ケアに携わってきましたが、訪問診療を利用される方は高齢者が多いため、総合診療という形で診てきたこととなります。今までの経験を活かし、脳神経内科を軸として総合的に患者様と向き合っていきたいと考えています。皆様の生活全般をお支えしながら、この地域における社会連帯を目指します。

『奉仕の心をこめて』

疼痛緩和内科・ペインクリニック内科診療 担当
中川原 三和子



私はペインクリニック診療において、より充実した生活を患者様に送って頂くことを常に心しております。馴染みのある多くの方々に囲まれて、痛みのない穏やかな日々を過ごし、患者様お一人お一人が幸せを感じて頂くことを最終目標としております。

当院の疼痛緩和の特色は、薬物治療、神経ブロック療法、温熱療法、鍼灸、消炎鎮痛リハビリテーションに加え、循環改善・組織活性効果を期待してマイクロウェーブ療法やイオンシーリングを取り入れている点にあります。これらは、創傷治癒促進、関節可動域改善、帯状疱疹後神経痛などの難治性疼痛にも高い効果が得られています。

痛みに苦しんでおられる方に、お気軽にご相談頂きたいと思っております。



整形外科手術のご案内

当院は、地域のかかりつけ病院として、住民の皆様が安心して暮らせる医療提供を目指して診療を行って参りました。このたび、令和7年6月から整形外科手術を本格的に開始する運びとなり、骨折や関節疾患、腰痛、膝の痛みなどに対する治療を我々のまちで完結するための体制を整えました。これまで鹿児島市内など遠方への入院、通院が必要だった方々にも、住み慣れた地域で手術から術後リハビリテーション、栄養治療までを一貫して受けて頂けるようになります。

鹿児島大学整形外科教室との連携を図りながら、

- # 骨折に対する観血的整復・固定術
- # 人工関節置換術（膝・股関節）
- # 手根管症候群・肘部管症候群、末梢神経障害の手術

の診療を順次拡充して参ります。

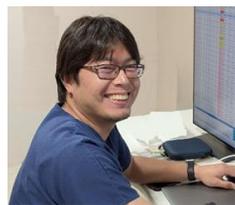


24時間365日、手術治療のご相談を承りますので、下記まで お問い合わせください

TEL : 0993-52-2367 (病院代表)

FAX : 0993-58-2127

窓口担当 : 奥野良磨 (手術室看護師長) ・井内 智洋 (整形外科)



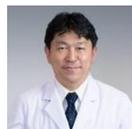
整形外科 井内 智洋

鹿児島大学整形外科の井内智洋です。地域の整形外科診療の更なる充実を図るため、2025年4月より月・水・金曜日の週3日に外来診療日を増やし、有馬病院整形外科外来診療体制をスタートしております。この度、手術室の環境整備等も整い、6月から整形外科手術を再開することとなりました。

手術は主に月曜日に行う予定です。手術のご相談も含め、怪我や骨折等でお困りの際は、是非、有馬病院にご相談ください。整形外科外来のない日でも、ご相談の受付が可能な体制を整えておりますので、いつでもご連絡ください。地域の皆様が必要とする整形外科手術を提供できるよう、スタッフ一丸となり取り組んでまいります。

『拓生の志高く』

小児外科・小児総合診療 担当
武藤 充



当院は 南薩地区住民のみなさまの日々のご健康をお支えすべく、総合診療を実践しております。新生児期・乳幼児期・学童期・思春期のこどもさん方の外科疾患、けがや外傷、 日常内科疾患などを総合的にサポート致しますので、お困りの事 があればいつでもお気軽にご相談ください。

少子高齢社会の中、次代を担うパイオニアであるこども達の健康、愛情を注ぎ懸命に子育てに励んでいらっしゃるお父さん・お母さんの健康が 何よりも大切であると考えております。 お子さま達の成長 を一緒に見守りながら、ご家族メンバー皆さん全員を医療の面からお力添えする、そんな医療機関でありたいと思います。私たちは“まちの保健室”として誰もが頼れる病院 を目指し、常に前進して参ります。



病院コンテンツのご案内

当院のイベントや日常診療、学術活動の紹介、スタッフへのインタビュー、病院ブログなどのコンテンツを準備して、当院の取り組みを様々な角度から随時発信しております。お時間のある時に左記QRコードから当院ホームページを是非御覧ください。



標榜診療科

内科 ・ 消化器内科 ・ 脳神経内科 ・ 老年内科
外科 ・ 消化器外科 ・ 小児外科 ・ 婦人科 ・ 整形外科 ・ リハビリテーション科
救急科 ・ 麻酔科 ・ ペインクリニック内科 ・ 疼痛緩和内科

診療日

- ◇ 診察日 月曜 ～ 土曜
(※土曜は午前のみ)
- ◇ 診療時間 午前 8:30 ～ 12:00
午後 2:00 ～ 6:00
- ◇ 休診日 日曜 ・ 祝日

※ 夜間を含め、救急の際はいつでもご相談ください

診療科目	月	火	水	木	金	土
一般内科	○	○	○	○	○	午前のみ
一般外科	○	○	○	○	○	午前のみ
消化器外科・消化器内科	○	○	○	○	○	午前のみ
小児外科・小児総合診療	○	○	○	○	第2・第5週	午前のみ
脳神経内科	午後のみ	○	○	○	○	第4週 午前のみ
婦人科	○	午前のみ		○		
整形外科	○		午前のみ		午前のみ	
ペインクリニック					○	

病院概要

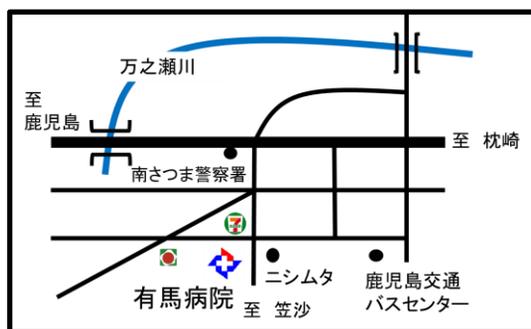
- ◇ 病床数 一般病棟 46床
地域包括ケア病棟 33床
- ◇ 面会日時 月 ～ 金曜日(祝日を除く)
15:00 ～ 16:00 (要予約)
- ◇ 通所リハビリ (デイケア) 短時間型あり
- ◇ 居宅介護支援事業所
- ◇ 訪問看護

当院 各部門の紹介は左記
QRコード から当院ホーム
ページ をご参照下さい。



アクセス

〒 897-0008
鹿児島県 南さつま市 加世田 地頭所570



鹿児島交通加世田ターミナルより徒歩5分

お問い合わせ

Tel : 0993 - 52 - 2367
Fax : 0993 - 58 - 2127

やさしさ 患者様とご家族に常に寄り添い、心を込めて丁寧に接する

信頼 各々の専門領域において、地域の皆さまに信頼される医療を実践する

連携 県内の医療機関・介護福祉施設と連携し、シームレスな患者支援を目指す

学び 時代や社会の変化に柔軟に対応できるよう、自ら学び続ける姿勢を大切にする

誇り 自分たちの病院と仕事に誇りを持ち、この地域を支える自覚をもって歩む

私たちは この5つをモットーに、地域に寄り添いあたたかな医療をつないでいきます。